

(6) 総合的な分析・評価

環境保全、レクリエーション、防災、景観形成、生物多様性の5つの機能について、評価結果のポイント数から、緑地を3つのランクに区分して総合的な評価としました。

■評価ランク区分

ランク	評価方法
I	評価の●が7～9
II	評価の●が4～6
III	評価の●が1～3

1) ランクⅠの緑地

阿久比川、板山高根湿地、権現山 など

- ・阿久比川とその支川は、優れた自然環境を有する都市緑化の骨格として、両側に広がる水田と一体となった地域を代表する景観となっています。
- ・矢勝川では彼岸花の群生がみられ、親水施設やサイクリングロードなどが整備され、河川美化活動や自然観察、自然とのふれあいの場として親しまれています。これらの河川周辺には、水鳥やホタルなどが生息し、生物多様性に寄与しています。
- ・権現山や上長根池周辺の丘陵地は、豊かな自然環境を有しています。また、板山高根湿地は、湿地性の植物やハッチョウトンボ（日本最小）などの生育・生息地となっています。

2) ランクⅡの緑地

池・湿地、社寺林、都市公園、ふれあいの森、阿久比スポーツ村 など

- ・池周辺などの水辺は、水鳥や陸鳥などの生息地の機能を有しています。
- ・農地は、阿久比川とともに都市緑化の骨格を形成し、水田の持つ保水・遊水機能は自然災害の防止へ寄与しています。
- ・集落などに広く分布する社寺林は、祭礼や知多四国霊場めぐり札所など、歴史的風土を感じさせるランドマークとなっています。
- ・都市公園は、快適な生活環境の拠点や日常的なレクリエーションの場となるとともに、災害時の避難場所としての活用などの機能を有しています。
- ・ふれあいの森は、様々な遊戯施設があるほか、ホタル養殖場もあり、地域のシンボルとなるレクリエーション拠点となっています。
- ・阿久比スポーツ村、グラウンド、ちびっ子広場、中学校などの公共施設緑地は、住民の身近な憩いの場であり、その緑とオープンスペースは、災害時の避難場所としての機能を有しています。

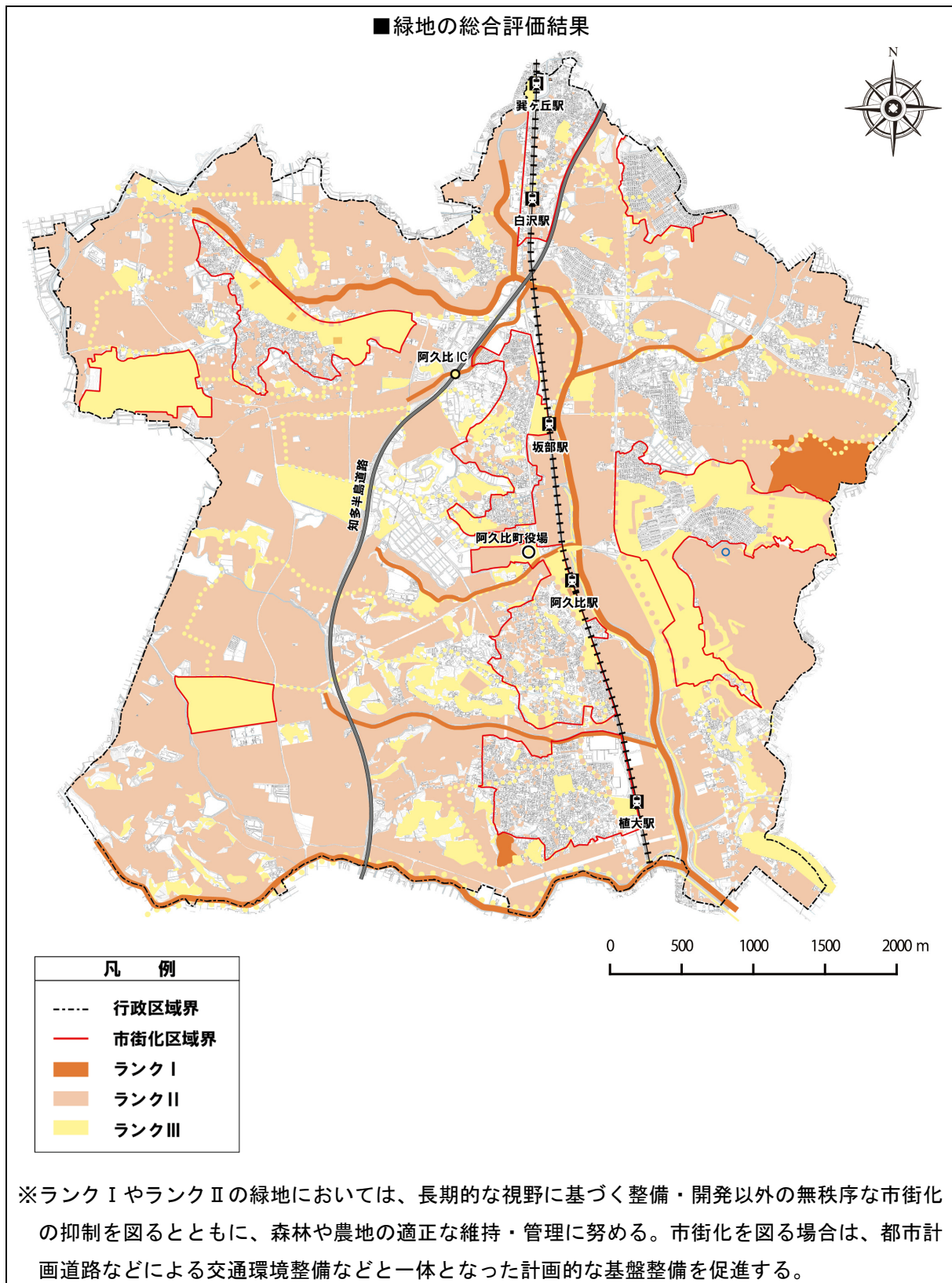
3) ランクⅢの緑地

十ヶ川、民有林、知多半島サイクリングロード、道路 など

- ・十ヶ川とその支川は、ほぼ全区間でコンクリート護岸が連続しています。
- ・森林は騒音や粉塵、風害などの影響の緩和などの機能を持ち、土砂災害を防ぐ必要のある樹林は、保安林などに指定されています。
- ・知多半島サイクリングロードやふれあいマップに掲載された散策コースは、ネットワーク性を有する緑として、河川や道路を軸に史跡、社寺、ふれあいの森、花かつみ園などを結んでいます。
- ・土地区画整理事業などによって整備された住宅地や阿久比駅・阿久比町役場周辺などは、地区や都市としての良好な景観の形成が重要なエリアとなっています。
- ・工業用地は周辺地域の生活環境との調和を図るため、一定割合の緑地が整備されています。
- ・街路樹などにより緑化された道路は、快適な生活環境としての軸の形成とともに、防災機能として、市街地での延焼遮断空間としての機能や避難路としての活用などの機能を有しています。

■緑地の総合評価

対象となる緑地		環境保全機能							レクリエーション機能			防災機能				景観形成機能					生物多様性機能		総合 ポイント	評価 ランク				
		都市緑化 の骨格を 形成する 緑	優れた自然 環境を有す る緑	優れた歴史 的風土を感 じさせる緑	快適な生活 環境につな がる緑	優れた農林 業地の緑	動植物の保 全に資する 緑	都市の環境 の維持・改 善に資する 緑	自然や歴史 とのふれあ いの場	日常圏にお けるレクリ エーション の場	広域圏にお けるレクリ エーション の場	ネットワーク 性の確保	自然災害の 防止・緩衝	人為災害の 防止・緩衝	避難	災害に強い 都市構造の 形成	多様な防災 活動拠点の 確保	地域を代表 する郷土景 観	地区や住区 の良好な景 観	優れた景観 の眺望点	ランドマーク となる場所	景観構成要 素のバラン ス			都市景観の 創出が必要 な地区	生息・生育 環境の多様 性	生態系サー ビス	
河川 ・水辺	阿久比川(ホタル、水鳥・陸鳥、ヨシ群落やワンド)	●	●		●												●		●				●	●	8	I		
	矢勝川(彼岸花、水際には植生が繁茂、親水施設、河川美化活動等の愛護活動、サイクリングロード)	●	●		●			●			●													●	●	7	I	
	前田川(ホタル、水際には植生が繁茂、環境に配慮された護岸)	●	●		●		●								●									●	●	8	I	
	草木川(ホタル、水際には植生が繁茂、勾配の緩やかな河岸や魚道、サイクリングロード)	●	●		●						●													●	●	7	I	
	福山川(水際には植生が繁茂)	●	●		●																			●	●	6	II	
	殿越川(殿越川景観遊歩道)	●	●		●			●							●									●	●	9	I	
	鎌子川	●	●				●																	●	●	5	II	
	砂走川	●	●				●																	●	●	5	II	
	十ヶ川(水際植生が連続、主に掘込河道)	●																								1	III	
	英比川(瀬や淵は見られず、両岸コンクリート護岸)	●																								1	III	
	板山高根湿地周辺(ハッチョウトンボ、シラタマホシクサ)		●		●		●		●									●						●	●	7	I	
	山田池(カモなどの水鳥)		●		●		●		●															●	●	6	II	
	草木池周辺(カモなどの水鳥)		●		●		●		●															●	●	6	II	
	阿屋免池(カモなどの水鳥)		●		●		●		●															●	●	6	II	
	西狐谷池周辺(ヒヨドリなどの陸鳥、ヒシが覆う)		●		●		●		●															●	●	6	II	
	屋郷池(アラカシ、ヤマモモなどの林と水辺)		●		●		●																	●	●	5	II	
	大池脇池(樹林と一体化した水辺)		●		●		●																	●	●	5	II	
丘陵地 ・樹林	植大地区(権現山周辺)	●	●					●										●		●				●	●	8	I	
	町東部丘陵地	●	●															●		●				●	●	6	II	
	地域森林計画対象民有林					●																		●		2	III	
保安林												●														1	III	
農地	農業振興地域農用地区域	●										●	●					●				●			●		6	II
	市街化区域内農地				●			●						●	●										●		5	II
社寺	熱田社(天然記念物の楠)(山車)			●														●						●		4	II	
	熊野神社(シイの多い林)		●	●																	●			●		4	II	
	箭比神社(スギ、シイの多い林)		●	●			●		●												●			●		6	II	
	多賀神社(シイの多い林)		●																		●			●		3	III	
	清来寺周辺(クロマツ林)		●																		●			●		3	III	
	秋葉神社:草木(シイの多い林)		●																		●			●		3	III	
	秋葉神社:宮津(宮津公園)																			●				●		3	III	
	秋葉神社:卯之山(クロマツの多い林)		●																		●			●		3	III	
	大山祇神社(ヤブミョウガ、オニユリなど)(山車)		●	●														●			●			●		5	II	
	八幡神社:白沢			●																	●			●		3	III	
	八幡神社:大古根(山車)			●														●			●			●		4	II	
	八幡神社:草木			●																	●			●		3	III	
	八幡神社:坂部、植				●		●														●			●		5	II	
	神明社:横松(山車)			●														●			●			●		4	II	
	神明社:植			●																	●			●		3	III	
	縣神社			●																	●			●		3	III	
	阿久比神社			●	●			●													●			●		5	II	
	天満社			●	●			●													●			●		5	II	
	津島神社			●	●			●													●			●		5	II	
	洞雲院			●																	●			●		3	III	
史跡	安楽寺			●																	●			●		3	III	
	観音寺			●																	●			●		3	III	
	坂部城跡			●				●										●			●					4	II	
公園 ・緑地	二子塚古墳(宮津公民館隣)			●														●								2	III	
	板山長根古窯			●														●								2	III	
	久松・松平家葬地(洞雲院)			●														●								2	III	
	都市公園(街区公園、近隣公園、都市緑地)				●			●		●				●	●	●				●	●					6	II	
	ふれあいの森(ホタル養殖場)				●					●							●	●		●	●					6	II	
	阿久比スポーツ村				●					●						●					●					5	II	
	グラウンド(白沢、草木、板山)				●			●		●															4	II		
	ちびっ子広場(遊園)				●					●																4	II	
	普通公園(陽なたの丘中央公園等)				●			●		●																5	II	
	緑地等(高根台緑地、陽なたの丘緑地等)				●			●		●					●	●										4	II	
小学校				●			●																		2	III		
地区	阿久比中学校				●			●									●									3	III	
	白沢ホタルの里						●										●									2	III	
	ふれあいマップに掲載された散策コース										●															1	III	
	知多半島サイクリングロード									●	●															2	III	
	花かつみ園(下芳池)							●										●								2	III	
	阿久比駅周辺(駅前広場・緑地)																					●				1	III	
	阿久比町役場周辺																					●				2	III	
	土地区画整理事業のエリア																		●							1	III	
	工業用地の緑						●																			1	III	
	宮津地区まちなみ																		●							1	III	
道路	知多半島道路(阿久比PA、阿久比IC)												●									●				2	III	
	道路(街路樹)				●								●													3	III	
	オアシス橋													●						●						1	III	
法令	準防火地域内の公園等																●											



5-2 前回計画の進捗状況

前回策定の面積目標に対する現状の達成率は、街区公園は65.6%、近隣公園は13.0%、総合公園及び歴史公園は0%となっています。

また、特別緑地保全地区や風致地区の指定、緑化重点地区、保全配慮地区での取組などはありません。

■阿久比町緑の基本計画(平成18年(2006年)3月)の概要

①緑地の保全及び緑化の目標
◇緑の将来像 「～住民と共につくる～阿久比川の清流と丘陵の緑につつまれ人と自然のなごむまち」 ◇計画の基本方針 基本方針① 阿久比ならではの風土を生かした“みどり”のまちづくり（緑の保全） ・ 町を特色づける緑の保全、ビオトープ空間としての緑の保全など 基本方針② 快適でうるおいある“みどり”のまちづくり（緑の創出） ・ 緑のネットワークの形成、総合公園の整備、防災機能を持つ公園の配置、住民が気軽に楽しめる公園の整備、市街地内の社寺林の保全、民有地の緑の整備など 基本方針③ 町民にうるおいと活力をもたらす“みどり”のまちづくり（緑の育成） ・ 人と自然のふれあえる環境づくり、ホタルを通じた環境教育、緑化意識の啓蒙、住民参加による緑化運動の推進など
②緑地の配置及び都市緑化の計画
◇環境保全系統 ・ 都市緑化の骨格の形成、良好な都市環境の形成をめざした緑地のネットワーク化、都市気象の緩和に資する河川・道路などの緑化によるネットワーク化、地区の性格に応じた緑地の配置など ◇レクリエーション系統 ・ 多様なレクリエーション需要への対応、将来の人口に応じた適切な形態・規模の緑地の配置、民間施設の積極的な取り込み、日常的な健康のための均衡ある配置など ◇防災系統 ・ 地震災害時における安全性の確保、緩衝緑地の配置、災害発生の際のある地域の緑地への取り込み、市街地農地の一次避難地としての活用など ◇景観系統 ・ 郷土景観を構成する緑や、地区の特色づけ、文化財と一体となった樹林地など、美観向上のための緑化の配置 など

■施設緑地の整備目標及び地域制緑地の指定目標

種別			前回計画時(H17)		前回計画の目標(H32)			現状(R2)		達成率	
			箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	備考	箇所	面積(ha)	箇所	面積
施設緑地	都市公園	街区公園	14	4.68	26	7.71	12箇所新設	16	5.06	61.5%	65.6%
		近隣公園	1	1.20	4	9.20	3箇所新設	1	1.20	25.0%	13.0%
		地区公園	0	0.00	0	0.00	配置しない	0	0.00	—	—
	都市基幹公園	総合公園	0	0.00	1	16.00	阿久比スポーツ村11.2ha含む	0	0.00	0.0%	0.0%
		歴史公園	0	0.00	1	0.60	二子塚古墳周辺	0	0.00	0.0%	0.0%
地域制緑地	都市緑地		1	0.22	1	0.22	新設はしない	1	0.22	—	—
	公共施設緑地		46	41.92	44	27.76	阿久比スポーツ村を総合公園に移行、白沢グラウンドを近隣公園に含めて配置	68	43.06	154.5%	155.1%
	民間施設緑地		42	21.49	42	21.49		49	33.36	—	—
	特別緑地保全地区		0	0.00	8	12.33	8箇所の社叢を指定	0	0.00	0.0%	0.0%
	風致地区		0	0.00	1	13.42	板山湿地	0	0.00	0.0%	0.0%
	その他の法によるもの		4	1,271.69	4	1,267.49	農用地区域、河川区域、保安林、地域森林計画対象民有林	4	1,055.73	—	—
	条例によるもの		4	0.34	4	0.34	板山長根古窯、久松・松平家墓地、坂部城跡の現行のまま	4	0.45	—	—
	施設・地域制緑地の重複		0	0.00	15	16.53		14	17.70	—	—
	総計		112	1,330.54	136	1,332.99		129	1,121.38	94.9%	84.1%
	緑化重点地区・保全配慮地区										

■緑化重点地区・保全配慮地区

地区	対象地区	対象面積	現在の状況
緑化重点地区	宮津地区	16ha	緑化重点地区への設定はないが、都市計画道路の緑化、公園の配置などを実施
保全配慮地区	東部保全配慮地区	125ha	(未実施)
	中部保全配慮地区	300ha	(未実施)

5-3 都市公園の配置の分析・評価

前回の阿久比町緑の基本計画（平成 18 年（2006 年）3 月）の策定時から現在までの都市公園の整備状況を見ると以下のとおりです。

■公園の配置

本町には、都市公園が 18 ヲ所（都市緑地含む）整備されていますが、白沢駅、坂部駅、植大駅周辺の住宅地などは徒歩圏外のエリアとなっています。

これらのエリアは、前回の阿久比町緑の基本計画（平成 18 年（2006 年）3 月）において、街区公園などの整備が位置づけられていましたが、整備は未達成となっています。

■街区公園

街区公園は、前回の阿久比町緑の基本計画（平成 18 年（2006 年）3 月）時点から宮津地域で2 ヲ所増加しています。エリアでみると、白沢地域、卯坂地域、植大地域で徒歩圏外のエリアが見られます。

■近隣公園

近隣公園は、前回の阿久比町緑の基本計画（平成 18 年（2006 年）3 月）において、整備済みの南部地域以外の3 地域に1 ヲ所ずつ整備する方針となっています。

現在、草木地域と東部地域の市街化区域では街区公園の徒歩圏で充足しています。一方、英比地域の市街化区域で、都市公園の徒歩圏外のエリアが多く、都市公園の整備が求められます。

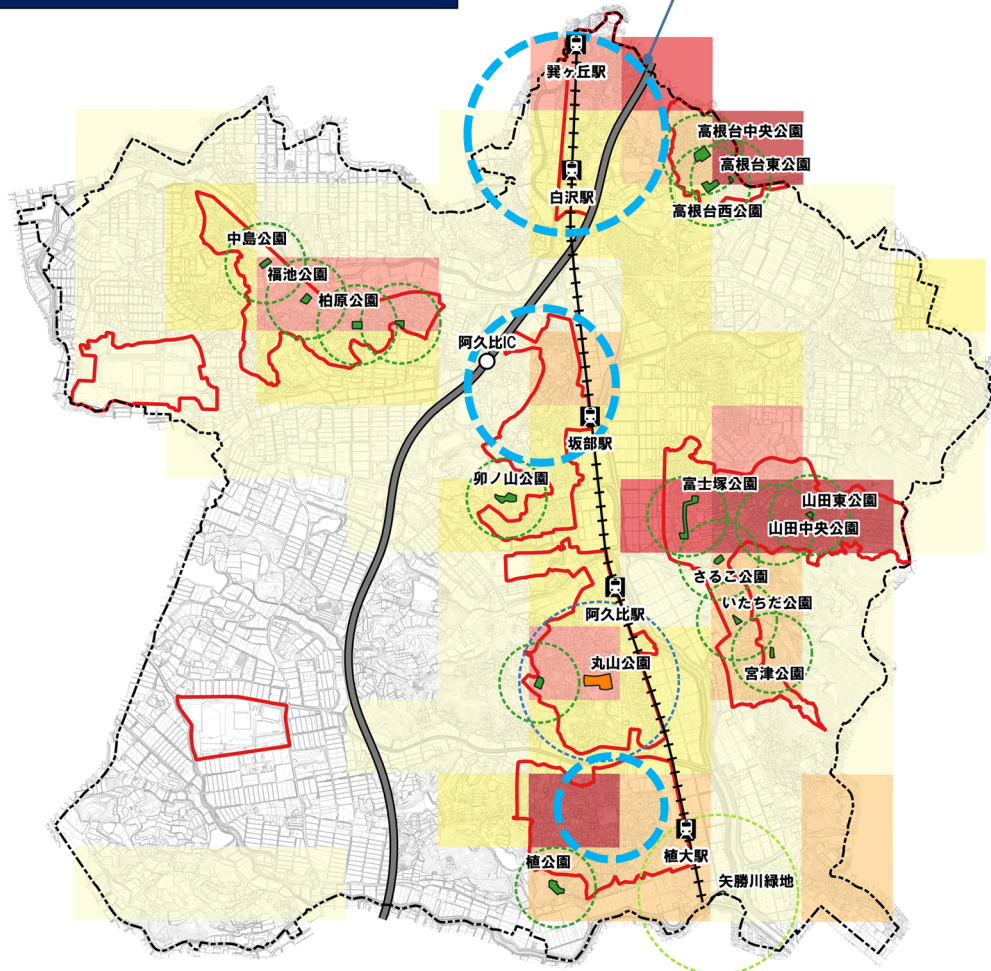
■都市基幹公園

都市基幹公園は、前回の阿久比町緑の基本計画（平成 18 年（2006 年）3 月）において、阿久比スポーツ村周辺に、総合公園1 ヲ所を配置する方針となっていますが未整備となっています。身近な緑に親しむ環境の整備が必要となります。

- 本町には、都市公園が18カ所（都市緑地含む）整備されていますが、白沢駅、坂部駅、植大駅周辺の住宅地等は徒歩圏外のエリアとなっています。

都市公園（2030年 人口密度重ね）

都市公園の徒歩圏外



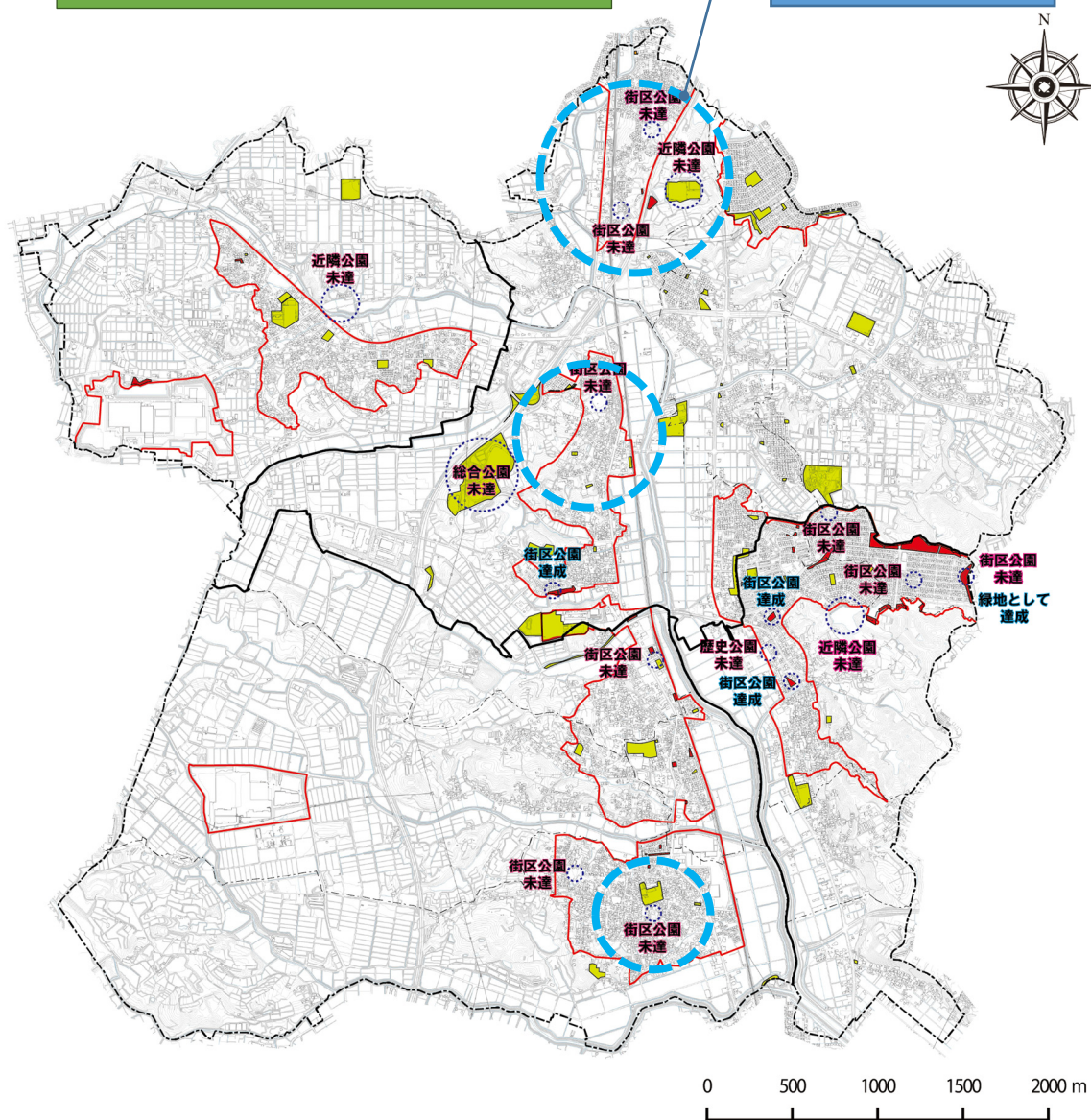
凡 例	
 街区公園 近隣公園 都市緑地 街区公園 250m圏内 近隣公園 500m圏内 都市緑地 500m圏内 市街化区域 行政区域 鉄道駅 +++ 鉄道路線	2030年 人口密度 10.0人/ha 未満 10.0人/ha 以上 20.0人/ha 未満 20.0人/ha 以上 30.0人/ha 未満 30.0人/ha 以上 40.0人/ha 未満 40.0人/ha 以上 50.0人/ha 未満 50.0人/ha 以上

0 500 1000 1500 2000 m

- ・白沢駅等の都市公園の徒歩圏外のエリアでは、前回の阿久比町緑の基本計画（平成 18 年（2006 年）3 月）において、街区公園等の整備が位置づけられていましたが、整備は未達成となっています。

H18 緑の基本計画：公園配置計画の検証

都市公園の徒歩圏外



凡 例

- 行政区域界
- 市街化区域界
- 都市公園・公共施設緑地（新規）
- 都市公園・公共施設緑地（平成 18 年度時点）

5-4 課題の整理

(1) 緑地の機能からみた課題

緑が都市において果たす環境保全、レクリエーション、防災、景観形成、生物多様性の5つの機能からみた緑の課題は以下のとおりです。

<環境保全>

【緑の現況】

- ・阿久比川とその両側に広がる農地、後背に連なる丘陵地が都市の緑の骨格を形成している。
- ・阿久比川や板山高根湿地などは貴重な野生動物の生息地、丘陵地や社寺林は良好な植物群落を有する緑となっている。
- ・坂部城跡などの史跡周辺の緑地や天然記念物の熱田社の楠などは、優れた歴史風土を感じさせる緑となっている。
- ・都市公園や公共施設緑地、社寺林、風の通り道となる阿久比川などは、快適な生活環境を支えるとともに、都市環境の維持・改善に資する緑となっている。



【緑の課題】

- 市街化の進展に伴い減少傾向にある、都市の緑の骨格（河川、田園、丘陵地）の保全が求められます。
- 良好な自然や歴史文化などのそれぞれの緑の価値に応じた保全が求められます。

<レクリエーション>

【緑の現況】

- ・矢勝川や殿越川の親水施設、坂部城跡など、自然や歴史とのふれあいの場として整備が進められている。
- ・日常的なレクリエーションの場となる街区公園や近隣公園の住民一人あたりの公園面積は約 2.3 m²/人と小さい。
- ・広域的なレクリエーション拠点として、都市公園以外にふれあいの森、阿久比スポーツ村がある。
- ・知多半島サイクリングロードは町内で約 50%が完成している。



【緑の課題】

- 都市公園の徒歩圏外となっているエリアで、日常的に歩いて行ける公園の充実が求められます。
- 人口減少や高齢化に対応した特色ある公園施設の整備・管理が求められます。

<防災>

【緑の現況】

- ・阿久比川・十ヶ川流域の浸水想定区域に、保水・遊水機能を有する水田が位置している。
- ・災害時の屋外避難場所として、公園やグラウンドなどが指定されている。
- ・阿久比スポーツ村、ふれあいの森、阿久比中学校などは多様な防災活動の拠点となっている。
- ・都市公園や河川、道路などのオープンスペースの緑は、騒音や大気汚染の防止・緩衝空間となっている。



【緑の課題】

- 自然災害の抑制や被害軽減に資するまとまりのある農地や丘陵地の緑の保全が求められます。
- 災害時の避難場所・防災拠点となる防災機能を持った公園緑地の計画的な配置が求められます。

<景観形成>

【緑の現況】

- ・阿久比川及び周辺の農地、板山高根湿地、坂部城跡周辺の緑地は地域を代表する郷土景観となっている。
- ・阿久比駅前などでの土地区画整理事業により、地区や住区の良い景観が形成されている。
- ・ふれあいの森やオアシス大橋が景観の眺望点となっている。
- ・阿久比中学校などの桜、名鉄駅や電車から見える田園風景は町のランドマークとなっている。



【緑の課題】

- 地域住民に親しまれている景観資源（田園、ホタル、社寺林、桜など）の保全が求められます。
- 沿道緑地の整備などによる道路景観・安全性の向上が求められます。

<生物多様性>**【緑の現況】**

- ・丘陵地の緑や広く分布する社寺林、阿久比川や板山高根湿地などの様々な緑により、生物多様性が確保されている。
- ・市街化の進展により、町の特徴でもあるホタルが年々減少している。
- ・まとまりのある樹林や公園、農地、河川は、温室効果ガスの吸収、透水効果による水量の調整などの機能を有している。

**【緑の課題】**

- 生物多様性の理解を深める機会の確保と生息空間の保全が求められます。
- 都市の低炭素化に資する緑の保全・整備が求められます。

(2) 住民意識からみた課題

住民意識調査の結果から、緑の保全や公園の整備に関する課題を整理すると以下のとおりとなります。

【緑の課題】

- 「身近な公園の緑」は重要度が高いが、満足度は低く、優先的に改善策を検討する必要があります。
- 健康づくり・やすらぎの場、生物のすみか、季節感が感じられる緑が望まれています。公園では、散策が楽しめる公園や防災公園、子どもの遊び場のある公園が希望されています。
- まちづくりにおいて、公園の整備・管理、生物の生息地の緑の保全が重視されています。
- 「遊具や運動施設などの施設の充実」「ベンチなど休憩施設やトイレの充実」「駐車場・駐輪場」などの施設への満足度は低く、改善が求められます。
- 公園は、「子どもや孫と遊ぶため」に良く利用されているが、ほとんど利用しない世代（50代など）もあり、多様な年代の住民ニーズに対応した公園の整備が求められます。
- 公園の利用頻度は、年や月に数回が多く、身近な公園の整備やイベント等による来訪機会の提供が求められます。
- 緑化活動として、自宅の緑化や生物の調査・保全活動、公園・道路の緑の管理に関心が高いことから、住民参加の機会や体制づくりが求められます。

(3) 緑地の整備・保全状況からみた課題

前回計画で位置づけられた公園の配置と現在の整備状況を見ると以下の課題が整理されます。

【緑の課題】

- 白沢駅、坂部駅、植大駅周辺の住宅地等は公園の徒歩圏外のエリアとなっており、街区公園等の整備が求められます。
- 英比地域の市街化区域で、都市公園の徒歩圏外のエリアが多く、近隣公園等の整備が求められます。
- 阿久比スポーツ村周辺に配置する方針となっていた、都市基幹公園等の整備が求められます。

＜名鉄沿線の田園風景＞



＜オアシス大橋からの景観＞



■緑の課題図

